

2005年度(2005年1月1日から
2005年12月31日まで)事業計画書

1. 学術的会合

- 1-1. 年次大会・秋季大会
1-1-1. 第60回年次大会
会期: 3月24日(木)~27日(日)
会場: 東京理科大学野田キャンパス(千葉県野田市山崎)
- 1-1-2. 秋季大会
1-1-2-1. 素粒子論, 素粒子実験, 宇宙線・宇宙物理
会期: 9月12日(月)~15日(木)
会場: 大阪市立学杉本キャンパス(大阪市住吉区杉本町)
- 1-1-2-2. 理論核物理, 実験核物理(アメリカ物理学会と合同開催)
会期: 9月18日(月)~22日(木)
会場: ハワイ・マウイ島
- 1-1-2-3. 上記二項以外の領域(主に物性関係)
会期: 9月19日(月)~22日(木)
会場: 同志社大学京田辺キャンパス(京都府京田辺市多々羅都谷)
- 1-2. 国際会議の主催・共催
1-2-1. 湯川セミナー2005: アインシュタインの遺産とその新しい展開
主催: 京都大学基礎物理学研究所・湯川記念財団
会期: 6月27日(月)~7月1日(金)
場所: 京都大学基礎物理学研究所
本会代表運営委員: 佐々木節氏(京大基研)
- 1-2-2. The 13th International Conference on Scanning Tunneling Microscopy/Spectroscopy and Related Techniques 『STM05』 in Conjunction with The 13th International Colloquium on Scanning Probe Microscopy 『ICSPM13』
主催: STM'05 組織委員会
会期: 7月3日(日)~8日(金)
場所: 札幌コンベンションセンター(札幌市白石区東札幌6条)
本会代表運営委員: 松本卓也氏(阪大産研)
- 1-2-3. 量子エレクトロニクス国際会議2005 及びレーザー・エレクトロオプティクスに関する環太平洋会議2005
共同主催: 日本学術会議, 電子情報通信学会, 応用物理学会, 日本物理学会
会期: 7月11日(月)~15日(金)
場所: 都市センターホール(東京都千代田区平河町)(予定)
本会代表運営委員: 五神 真氏(東大工)
- 1-3. その他の学術的会合
1-3-1. 科学セミナー
テーマ: (昨年度に引き続き2005世界物理年に関連したテーマを検討中)
会期: 8月26日(金)~27日(土)
場所: 牛込筆筒区民ホール(東京都新宿区)
- 1-3-2. 公開講座(科研費補助金を受けて開催を予定)
1-3-2-1. 理事会企画
テーマ: 奇跡の年から100年—アインシュタインの3つの理論
会期: 11月5日(土)午後
場所: 東京工業大学デジタル多目的ホール(東京都目黒区)
- 1-3-2-2. 大阪支部企画
テーマ: アインシュタイン・イヤー・イン・オオサカ
会期: 9月24日(土)午後
場所: 大阪大学中ノ島センター(大阪市)
- 1-3-2-3. 九州支部企画
テーマ: 宇宙物理学—過去・現在・未来—
会期: 7月23日(土)午後
場所: 九州大学国際ホール(福岡市)
- 1-3-3. 支部例会等
北海道, 東北, 新潟, 名古屋, 北陸, 京都, 大阪, 中国, 四国, 九州の各支部において適宜開催。
- 1-3-4. 国内会議, 国際会議等の共催・協賛・後援
他学協会等主催の国内会議, 国際会議等を理事会で審議のうえ共催・協賛・後援。
2. 刊行関係
2-1. 日本物理学会誌
第60巻1号~12号, 月刊. A4判(本年度から判型をA4変形判から変更), 毎号140ページ, 各18,700部発行。
なお, 年次大会・秋季大会のプログラムを3月および8月に増刊号としてそれぞれ発行。
- 2-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)

Vol. 74 No. 1~13 (No. 13 は Volume Index), 月刊. A4判, 毎号352ページ(No. 13 は120ページ予定), 各1,450部発行。なお, 刊行業務はIPAPが実施。本会は700部引取。

2-3. JPSJ 全文オンライン化

Vol. 1 (1946)~バックナンバー未公開分をオンライン化する。

またインターネットを通じて提供する。

2-4. その他

下記の研究資料等を発行し会員等の希望者に有料または無料で頒布する。

2-4-1. 講演概要集

年次大会・秋季大会の講演概要集各4分冊

2-4-2. 物理学論文選集

提案を慎重に審査して適切であれば出版

2-4-3. 科学セミナーテキスト

2005年度に開催する科学セミナーのテキスト

2-4-4. JPSJ CD版

作製予定なし(IPAP扱い)

2-4-5. JPSJ Vol. 74 (2005) Supplement

2004年からの延期分1件を含む2件を予定(IPAP扱い)

2-4-6. 大学の物理教育

3月, 7月, 11月の年3回発行。

他に案内パンフレットを作成する。(会誌と一緒に発送(2回))。

2-4-7. 公開講座テキスト(無料)

2005年度に開催する公開講座のテキスト

2-4-8. 会員名簿

(刊行年ではないため出版しない)

3. 国際交流・協力関係

3-1. オーストラリア・ヨーロッパ・ドイツ・韓国・台湾・香港・メキシコ・ポーランド・アメリカ・イギリス, 等の物理学会, およびその他の諸団体との交流・協力

3-2. AAPPS(アジア太平洋物理学会連合)への参加・支援(台湾で開催予定の環太平洋物理学会サミットへの参加も含む)

3-3. AAPPS Bulletin 刊行への援助

3-4. ASPEN (Asian Physics Education Network) への協力

3-5. 開発途上国へのJPSJ別刷代援助およびJPSJ等の寄贈

3-6. IUPAP (International Union of Pure and Applied Physics) への支援

3-7. UNESCO PAC (Physics Action Council) への協力

3-8. APS (The American Physical Society) の Council Meeting への代表派遣

3-9. APPEC(アジア太平洋物理学会議)への参加・協力

3-10. Women in Physics(ブラジルで開催予定)への参加・協力

4. 図書・雑誌の供覧および物理学史資料の利用

本会所蔵の図書・雑誌を会員の利用に供する。また本会所蔵の物理学史資料の利用希望に応じる。

5. 日本物理学会論文賞

JPSJおよびPROGRESS掲載論文の中から5編以内を選び表彰する。

6. その他

6-1. 2005世界物理年について

昨年結成された2005世界物理年日本委員会とも協力しながら, ジュニアセッション, 物理チャレンジ, 等の各種企画行事を行う。

6-2. 理事会で適当と認められた事業

各種特別委員会等での検討をもとに理事会で承認した事業等。

なお, 上記のほか次の欧文誌を共同で発行する。

6-3. PROGRESS OF THEORETICAL PHYSICS (PROGRESS)

本会との共同で理論物理学刊行会から発行。

Vol. 113 No. 1~6, Vol. 114 No. 1~6, 月刊

B5判, 毎号200ページ, 各1,050部発行

その他, Supplement 数冊を発行予定。